

こんちゅう

ひょうほん つく

# 昆虫のぬけがらの標本を作ろう

セミやトンボのヤゴのぬけがらをあつめて標本にしてみましょう。

## ようい 用意するもの



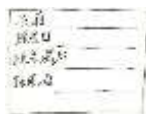
昆虫針



ピンセット



標本箱



ラベル

(虫の名前、採集日  
採集場所、採集者)

## だいひょうてき 代表的なセミのぬけがらのみわけ方



アブラゼミ

(三種類の中で  
一番大きく赤茶色)



ヒグラシ

(細長く色がうすい)



ニイニイゼミ

(丸くて泥がついている)

## ほうほう セミのぬけがらの採集方法

## トンボのヤゴの ぬけがらの採集方法

## ぬけがらの標本の作り方



①セミがよく鳴いている木を中心にぬけがらをさがす。

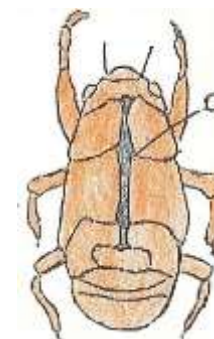


②土にセミの幼虫が出た後の穴があいている所をさがす。



池や川岸の草をさがす。

針をさしてラベルをつける。



## ポイント

- 種類や採集場所ごとに標本を整理しましょう。
  - 採集場所を変えると虫の種類が変わります。
  - セミやトンボ以外の虫のぬけがらも集めてみよう。
  - 採集記録を作って、採集したぬけがらを記録しましょう。
- ①日時②場所③虫の名前

- セミのぬけがらは木の根もとから1 m くらいの高さの所に多くあります。
- まわりの草もよくさがしてみよう。